

特集

こども まんなか アクション スタート!!

岩倉市は、こども家庭庁が唱える「こどもまんなか社会」の実現の趣旨に賛同し、令和6年2月26日に「こどもまんなか応援サポーター宣言」をしました！ こどもまんなかアクションとして、さまざまな子育て支援施策を展開していきます。

●問合先 こども家庭課保育グループ
(☎ 50-0372)

生まれる前からの切れ目のない子育て家庭支援

小中学校・高等学校

療のうち、自己負担分を助成します。

●安全なまちで安心の子育て

防犯灯・安全安心カメラ
通学路を中心に防犯灯や安全安心カメラを設置しています。

登下校時の安全指導

スクールガードを始め、地域のボランティアが子どもたちを見守っています。
また、交通指導員による交通指導も行っていきます。

自転車乗車用ヘルメット購入補助

7歳から18歳までのお子さんのヘルメット購入費用の一部を補助します。



物洗口

児童にフック物洗口を実施しています。

●“さくら”を守るおしごと体験会

小中学生を対象に岩倉市民の花木「さくら」の植樹や
保全作業を体験できます。

児童発達支援

子ども発達支援施設あゆみの家
療育・親子あそび・保護者への助言・
相談を行っています。

医療的ケア児支援
安心して保育園や小学校で過ごせる
ように看護師が支援します。



●自然生態園

子どもたちが身近な自然に
ふれあう場で、体験型の楽しい
イベントがたくさんあります。
(クリスマスリースづくり
や夜の観察会など)



●小中学校体育館エアコン導入

小中学生の暑さ対策として、
小中学校の体育館へのエアコン
設置に向けて、設計や工事に
取り組みます。



●企業見学ツアー

岩倉市の魅力ある企業を、親子で体験&学ぶツアー
を開催します。

●私立高等学校等補助

私立高等学校等授業料を年額
22,000円又は14,500円補助
します。(所得要件あり)



●第3子以降学校給食費無償化

18歳未満の児童が3人以上いる保護者に対し、
第3子以降の小中学校給食費を無料にします。

●こどもの居場所づくり

●放課後児童クラブ(全小学校)

保護者が就労等により昼間家庭にいない児童
(小学1年生～6年生)に遊びや生活の場を提供
します。

●放課後子ども教室(毎週土曜日)

各小学校の体育館・図書室を児童に開放します。

●児童館

0歳から18歳までのこどもの遊びや交流の場であり、市内に7館あります。

●中高生専用タイム

児童館では、午後5時30分以降、中学生・高校生専用の居場所として開放しています。

●こここシティいわくら

子どもたちが主体となって企画、運営し、遊びを通してまちの建設からお店の経営まで体験できるイベントです。

●ジュニアオーケストラ ~音楽のあるまちづくり~

小学3年生から大学4年生までを対象にセントラル愛知交響楽団のプロの演奏家の指導が
受けられ、オーケストラならではの、みんなで演奏する楽しさを体験することができます。



こどもまんなか応援サポーター ってなに？

こどもまんなか応援サポーターとは、こどもたちのために何がもっともよいことを常に考え、こどもたちが健やかで幸せに成長できる社会を実現するという「こどもまんなか宣言」の趣旨に賛同し、自らもアクションに取り組む個人、団体・企業、自治体等のことです。

こどもまんなか に向けた取り組み

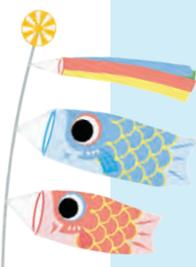
||

岩倉市の こどもまんなか アクション は、こちらです！

子育て家庭支援策検討

プロジェクトチーム

岩倉市では、「生まれる前からの切れ目のない子育て家庭支援」についての施策を検討するため、令和5年5月に、子育て家庭支援策検討プロジェクトチームを設置しました！「こどもまんなか応援サポーター宣言」や岩倉市こどもまんなかアクションは、このプロジェクトチームによって検討されたものです！



プロジェクトチームメンバーの 声

さまざまな部署の職員 11 人からなるプロジェクトメンバーには子育て世代も多く、自らの子育ての経験や子育てへの期待・不安などを活かし、検討を進めてきました。プロジェクトメンバーの職員 2 人に話をききました！

健康課
宮田さん



企画財政課
中山さん



市民の皆さんと直接お話する機会や、アンケート調査を通して、どんな支援が必要とされているのか、生の声を聴くことができ、プロジェクトの成果に活かされています。こどもまんなかアクションは、今後も更に充実させていきますので、ご期待ください。

子育てをする中で、多くの“喜び”を感じる機会がありますが、どれも瞬間的で、意識をしないと見過ごしてしまうことがあります。プロジェクトでの活動が、私自身の“子育ての喜び”を発見・再認識できるよい機会になりました。

令和6年度 岩倉市こどもまんなかアクション

若者

●いわくらでつながる“28歳の集い”
懐かしい仲間と再会したり、新たなコミュニティを作り、岩倉の良さを再認識してもらおう機会として、28歳になる岩倉市出身・在住・在勤の人が交流するイベントを開催します。

●FUTURE SESSION
まちづくりに関心のある若者が集い、やりたいことや想いを持ち寄り、自由に語り合う場を提供します。

●結婚活動支援
結婚に向けた知識を習得するセミナーや出会いの場を創出する交流会を開催します。

●就業者移住支援金
東京 23 区からの移住者に「移住支援金」を支給し、岩倉市への U・I・J ターンを促進します。

●お仕事に関する相談

若年者就職相談窓口
就職への様々な悩みを抱える若年無業者を対象とした無料の相談窓口があります。

ママジョブあいち出張相談
結婚・出産・育児などで離職し、再び働きたいと考えている女性や、このまま働き続けることに不安や悩みを感じている女性を対象とした無料の相談窓口があります。

創業支援
融資の補助金制度があり、創業支援セミナーを開催します。

妊娠期

●一般不妊治療費助成
自己負担額の1/2を助成します。(上限45,000円/年)

拡充 ●予防接種費助成
インフルエンザ予防接種費用 1,000 円 / 回を助成します。(妊婦・6 か月から小学 6 年生、中学 3 年生、高校 3 年生相当)
おたふくかぜ予防接種費用 2,000 円 / 回を助成します。(1 歳から 6 歳までの小学校入学前まで)

●出産・子育て応援金
妊娠届出時、出生届出後の経済的支援(各 5 万円)とともに、妊娠期から出産、子育てまでの相談支援をします。

新規 ●低所得妊婦の初回産科受診料助成
医療機関で妊娠判定に要した診察料、検査費の一部を助成します。

●寄り添う子育て支援
拡充 産前・産後サポーター派遣
心身の不調や育児不安を抱える妊産婦や多胎児家庭にサポーターを派遣し、家事・育児等の支援を行います。

子育て支援センター
いつでも子育ての相談や、子育て世代の仲間づくりができます。

赤ちゃん訪問
民生委員がプレゼントをもって赤ちゃんの生まれた家庭を訪問します。

家庭訪問型子育て支援「ホームスタート」
未就学児がいる家庭に子育て経験者のボランティアが訪問しサポートします。

ファミリーサポート
子育ての手助けをしてほしい人と手助けしたい人同士をマッチングして一時的に子育てのサポートをします。

乳児期

●子ども医療費助成
高校生世代まで医療費が無料。18 歳到達年度末までのこどもの保険料

拡充 ●産後ケア
(宿泊型・通所型・訪問型)
出産後、支援が必要なお母さんと赤ちゃんが医療機関等に宿泊、通所し、又は自宅に助産師が訪問し、授乳や赤ちゃんのお世話の仕方等の育児支援や相談を受けられます。

●育児講座
保健センター
パパママセミナー、プレママと産後ママの交流会、ツインズ交流会、これからはじめる離乳食教室など
子育て支援センター
ベビトレヨガ、国際交流員と英語でふれあいタイム、子どもと食事など
生涯学習センター
子育て親育ちの講座、子育てはしめの一步など

幼児期

●幼児 2 人同乗用自転車購入補助
コンパクトシティ岩倉の市内移動に便利な「幼児 2 人同乗用自転車」の購入費の一部を補助します。

拡充 ●1歳おめでとう教室
お誕生日のお祝いをプレゼントします。身体計測、親子遊び、子育てのポイントなどの話をします。

●歯の健康(フッ化)
年長児から小学 4 年生までの
●障がい児保育
拡充 児童発達支援相談
障がい児や発達の遅れが児童について相談ができる

●保育園・認定こども園
新規 公立保育園お昼寝用敷マット導入
送迎時の手荷物を減らし保護者をサポートします。

拡充 保育園等主食費支援
保育園等の給食の副食費に加えて主食費も免除します。(所得や子どもの人数の要件あり)

県内初 保育園送迎ステーション
岩倉駅前設置された送迎ステーションから各保育園施設へ、バスで送迎を行っています。通勤に岩倉駅を利用されている方は特に便利です。

●お子さんの一時預かり
一時保育
冠婚葬祭や保護者の急病時など家庭での保育が一時的に困難な場合に利用できます。

リフレッシュ保育
保護者がリフレッシュしたいときに月3回まで利用できます。

病児・病後児保育
お子さんが病気で集団生活が困難な時に一時的に利用できます。

休日保育
日曜日や祝日に仕事や保護者の急病など家庭での保育が一時的に困難な場合に保育園で預かります。

●子育て世代の交流

親子で遊びに行ける場所
子育て支援センター(にこにこフロア、ふれあいあそび、ひよこひろば)
児童館(おやこひろば、幼児クラブ)
生涯学習センター・さくらの家(子どもルーム)

絵本や紙芝居の読み聞かせ
図書館・生涯学習センター(おはなし会)
みどりの家・くすのきの家(ちびっこお話し会)

保育園や幼稚園で遊びを体験
保育園(ちびっこクラブ)
私立幼稚園、認定こども園(親子交流)



市のこどもまんなか情報を配信登録してね!

新規 ●い〜わキッズ

①スマートフォンアプリ「す〜くる」をダウンロード



②「チャンネル登録(追加)」画面で二次元コードを読み取り「い〜わキッズ」に登録(パスワード:1818)

●ふれ愛タクシー

妊産婦さん(母子手帳交付後から産後 3 か月まで)と小学校就学前児童がいるご家庭は、市内移動支援として、登録すると割引された料金でタクシーが利用できます。



子育て家庭支援策検討プロジェクトチームでは、

他にもこんなことを企画・提案し、令和6年度から導入されます！

1 岩倉市こどもまんなか情報『い〜わキッズ』の導入

『子育て支援の情報発信』のニーズにこたえるため、令和6年度から保育園・小中学校・放課後児童クラブの連絡用アプリとして導入する「すぐーる」で、子どもの年齢に合わせた情報を定期的に配信します！



子育て制度に関する情報って自分では探しにくいから、定期的に情報が届くのは助かるね。

児童館・図書館などでの小規模なイベントに関する情報も届くんだ！今週末はどのイベントに参加しようかな？



い〜わキッズへの登録は前ページ左下の二次元コードから！

2 公立保育園でのお昼寝マットの導入

保護者の負担軽減のため、毎週保育園に持ち込むのが大変だったお昼寝用布団を持ってこなくてよくなるように、お昼寝マットを導入します！



雨の日のお布団の持ち運びは本当に大変だったから、かなり助かる！

まもなく
利用が開始
されます！



3 産後ケア事業のメニューの拡充

これまで『宿泊型』と『訪問型』しかなかった産後ケア事業に、日帰りで施設で支援を受けられる『通所型』のメニューが増え、産後間もない妊婦さんがより使いやすくなりました！



助産師さんにじっくり話を聞いてもらえて、不安が減り安心できました。

ずっと眠れなかったけど、夜に赤ちゃんを預かってもらい、ゆっくり休むことができました。



「こども家庭センター」 を設置しました

- 問合せ こども家庭課子育て支援グループ (☎ 38-5810)
- 4月より全ての妊産婦、子育て家庭、こどもに対する支援を充実させるため、「こども家庭センター」を設置しました。
- 妊産婦や乳幼児の相談を受ける「保健センター（健康課）」、虐待の相談や支援を必要とする子育て家庭の相談を受ける「こども家庭課」、乳幼児のいるお母さんなどの育児相談や仲間づくりの場である「子育て支援センター」が連携し、切れ目のない相談・支援を行います。